京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

片言隻語（二）

エーエヌ生

○短棹一桐、急流を下る。只斷崖走り山巒動きて亦船の行くを知らず、而も一度俯して河面を見んか、臥牛の如き、狼牙の如き潭石突出して、万顆の白珠湧くが如く奔騰す、舟は逆落しに其中へ突掛るなり。與に魂消ね、腋下冷汗の流るゝを覺わず、而も舟夫は從容として、舷唄交りに前後左右、自由に棹を振ふて過ぎざる也。乞ふ徒らに經驗の力を叫ふ勿れ、彼等には自ら一個の驗心あり、能く此業に趣味を有し、始めより沈着に忠實に、其技を練磨せん爲に盡すと謂ふ。乘る者にしても其處也、若し一度にして懲々し、君子危きに近寄らずを極め込む者あらば、そは大事を成すに足らざる人也。退嬰主義、引籠り思案たるを免れざる也。

○何々主義たりと標榜して、固若しく自己を鑄型に入れて得々たる人あり、吾人は之を好まず。然れども平素何等の自信もなく觀念もなく、我前に來る者は迎へ、我後に來る者は負ふて、其間何等の差別鑑識をも有せざる所謂『成り行き次第』の不得要領なる人は、到底進歩的活社會の資にあらず、また德とすべきに非ざる也。主義そは口言ふものに非ずして、躬行ふべきものならずや。

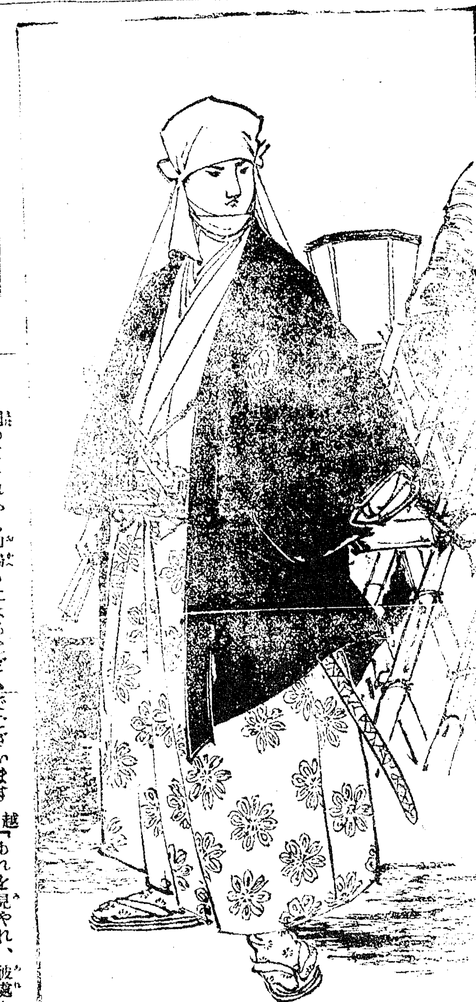
○化粧品の需用多きは是れ見易き廚房の空虛也。現時我日本の狀態は正にこれ也。チヨン髷がとれて大分頭に世話が燒ぬ樣になりしと思へば、どうして此頃の青年、紳士は机と並るに舶來化粧七ッ道具は缺く可らざる寶函の由にて、朝夕鏡臺に對して毛林の手入寧ろ頗る的の者ありとはいやはや變ば變る猿の子孫共かな、と呆れ申す次第也。而て女子の粉飾法は與に驚く可き發達？をなし。柳腰花顔も今は古りたり圓い顏も長く見せオデコも瓜核形に化かす位はれ茶の子なりと謂ふ、其眞偽はとまれ、近時新聞雜誌に見ゆる廣告中、最も大々的に最も夥多しく人目を牽くものは、則ち化粧品、裝飾品等、所謂流行の贅澤物これ也、畢竟さう云ふ商賣屋は繁昌するなるべし。換言すれば社會の婦女子がそれだけ浮華を好み、輕薄になりたる也、夢を追ひ、影に憧れ、競ふ所は容色外觀の華美にして、着實温健なる家庭の主婦として良妻賢母たるの素質を有する者漸く尠からんとす、果してこれ何の故ぞ、吾人は思ふ、餘りに歐米崇拜熱が高過ぎる爲也、極端なる新文明を輸入吸收せる爲也、一体吾人の先輩からして無暗に「消新」とか「根本的改良」とかさま〳〵な文字をくつつけて、西洋手品の取次をなし二言目には「西洋ではかうだから」などゝ說き立てゝ忠實にろか模倣者たらんとするが間ぬ所以也、勿論長短取捨して我缺を補ふならば大に必要也、只徒らに珍奇を追ひ、名にかぶれて、我古有の美風を閑却して了ふは最も忌む可し、その際に先方は此方の美風を研究し取得し、反對に質のない香箱を買ふ樣な馬鹿を見ぬとも限らず。

●故國友重章氏略歴

國友重章氏が去る十六日午後四時急性肺炎にて逝去したる事は既報の如くなるが今經歷の概要を記すれば左の如し

君は熊本の人文久元年十二月を以て生る少にして氣慨に富み驕牢不羈夙に四方の志ありたり明治十六年初めて上京井上毅氏に知られて法制局に職を奉じ次で二十年條約改正問題起るや當路者と意見を異にし極力反對論を主張せし結果終に同問題をして蹉跌せしめ同時に官界を辭するに至れり

二十八年渡韓し漢城新聞の主筆となり文名漸く高からんとするの時偶々殿妃事件に關係し累を受けて囹圄の身となり廣島監獄に投せらる爾來獄を出で東亞同文會國民同盟會對露同志會の爲めに盡力斡旋し中堅の一人として重視された近者日清兩國の懸案たる間島を踏査して世に紹介し大に盡す所ありたり而して今や亡矣惜むべしと云ふべし



○ハガキ文集

●京の友へ　青楓

君、韓の山に、諸居頽山だと笑ひ給ふな、京城には、南山といふ山があるよ、上野や愛宕山の如き、到底比較ものにならない、規模が大きくて、ヅツト〳〵ト高い山だよ、此の山、人工の美を飾ること少ない、自然に出來て居るのが、誇とするに足るね。翠松滴るところ、千仭の谷、木の間を馳る水の音、中々美景だよ、たゞ惜むらくは目黒不動尊の夫の如に、奔流岩をも挫く的のものゝやなく、何處までも、ヨボ式の顏る潺湲たる流れである一事だ。

講談　中山大納言

第四席　桃川燕玉　演

されば其頃名高い遊藝人は、大概備前の御屋敷へ出入りして、すつちやん〳〵と毎日どうも大騷ぎ、御屋敷の陽氣なこと一通りでない。されば其頃の御話だ、彼の長唄の名人で吉村楓香といふ者が屢々備前樣の御屋敷へ出た、或時安宅の浄瑠璃を謳りまして、只今は「薬越しの〳〵月の陰」と謳りますが、從前は「坊主の〳〵大坊主」と謳つたもの、吉村楓香といふ長唄の名人が「坊主の〳〵大坊主」と謳らうと云ふ時に御簾の中にれ在なすつた備前の太守大坊主で居らつしやる、唐突に楓香の前へヒョイと坊主頭を突出した、ハッと吉村楓香が驚いたのは、どうも殿樣の坊主頭を見て「坊主の〳〵大坊主」とは謳れませぬから、直ぐ其處で「薬越しの〳〵月のかげ」天下の名人は違つたもの、さつそくに唄つた。さればそれから以來安宅の浄瑠璃は薬越しの〳〵月のかげ、備前の太守が手を拍つて御感心をなすつて「其方は日本一の名人だ」と云つて益々御寵愛を遊ばしたと云ふ。何處を御歩きになるにも藝人の十八二十人位御連れ遊ばし、多くの御供を連れてぞろ〳〵市中を往來する吉原町などへ本供で繰込んで吉原五町をぐるゝと廻つてそれから御歸りになるなどゝ云ふ突拍子もない事をなさるから、越中守樣も弱りきつて仕舞つた。毎度越中樣へ御伺ひなすつて内「其許は頻りに質素倹約、改革をなさる、結構な事だが、斯く申す内藏などは少しく御身とは考が違ふから、金銀はごし〳〵湯水の如く使ひ捨てる毎度廓內へ參るが、措吉原町と申す所は不夜城と申して愉快な處、ちと貴許も吉原町へでも參つて見さつしやるが宜い、浩然の氣を養ふには至極宜しい所でござる」など〳〵無闇に突掛るから、越中樣は何時も苦笑ひをなすつて濟まして居らしつたが或時の事　越「家來共、どうも岡山が吉原町々々と毎度謗く申す、如何にも挨拶に困る、一夜吉原町と申す處を見物を致して參る考、武家の姿ではいかぬ、町人の姿となつて參る其方共も町人体に姿を變へ供致して參れ」家「委細畏りました」五六人の家來が縞の衣類、縞物の羽織、町人の姿になつた。殿樣も町人の御打扮で吉原町へ來た　越「是は何と申す處　家「恐れながら是は江戸町、京町、揚屋町、是は何と申します」と一々殿樣へ御話をし、其の頃のことでございますから、長家といふ局店がございまする、其處へ越中樣が入つてゐらしつた。すると夜分でございますから、どうも非常の雜鬧　△「廻らう〳〵」と大きな聲で怒鳴つて居る　越「コレ〳〵何である、廻れ〳〵と申して居る　家「此路次口が狹うございます、何時までも佇んで居つては邪魔に相成るから早く廻れ、通れと斯樣申すのでございます　越「ハヽア左樣か、然らば後に附いて來やれ」と先に立つて御出なさると、傍の女郎が長羅宇の煙管へ煙草を吸付け　女「モシれ前はん、一服れとんなはい」と角へ立つた若い男に煙草を吸付ける、若い男が煙管を取つて煙草をプカリ〳〵吹かして居る。越中樣御覽遊ばして　越「コレ〳〵家來共　家「ヘイ　越「予が質素倹約を申出し改革を致す、吉原町にも響いたものと見ねる、彼等大分質素倹約を致して見ねる　家「恐れながらそれは何故でございます　越「あれを見やれ、彼處なる男女は一本の煙管で兩人して煙草を吸つて居る、是は節倹を旨と致すのだ」さすが大名は大名、大變な間違へた。併し此越中樣は萬事に御油斷がございませぬから貯蓄米と云ふことを遊ばし、將軍家に於ても向柳原へ籾倉を仰付けられ、大名方へも嚴しく云ふものを拵へまして、此へ籾米を大層貯へた。御一新になりまして明治の五年、之を賣拂つたら七十五万兩になつた。又田沼樣が老中を勤めた時分、どうも市中が奢つて居りまして、町入用と云ふものが一箇月に大層掛かる、それを越中樣が町役人へ御沙汰になり、今迄の七分で用を辨ずるやうにして、殘り三分の內二分を今迄出金をした地主へ返し、餘り一分を萬一の時の豫備金と致し町會所に之を積立つて置いて、地面を抵當で貸してやる。サア年々此元利が殖ゑること大變で、明治の初年に相成りまして此金が七十萬圓になつて、地所の抵當流が四十餘萬と云ふものでございました。されば東京市が今日財產を有して居りますのは、全く越中守定信公の御經濟が宜しかつた故だと云ふ。明治の今日に德を遺す位の御方だから、實に越中守樣は大層な御方に違ひございませぬ、されば天下の政治を預つて益々世の中を御直しに相成る、茲に京都江戸一つの大事件を惹起し、越中守定信と中山愛親器量較べの御話に移りまするが、一息致しまして次席に伺ふことに致します。

京城新報

未勘金問題

●●●支那の活動を望む●●●

抑も未勘金なるものは從來觀察使郡守等の地方官が人民より徵收したる稅金を中央政府に納め殘したるものにして、所謂徵收したる稅金の殘金也、而して此殘金なるものは地方官の私腹したる所のものなれども、官紀の紊亂せる當時に於ては寧ろ之を普通の事として敢て顧ざりし也、此等地方官にして之に依りて私腹を肥したるものは一千人の多きに及び、其金高は殆ど四百萬圓に達すると云ふ、聞く所に依れば從來の地方官中に於て收稅の局に當りて其稅金を私せず十一ケ年間各郡の郡守を勤續し其淸廉潔白なりし廉により目賀田財政顧問の賞詞を受けたる安升玉なるものありと、多くの地方官中稅金を私せざるもの實に安升玉一人のみ之を以て見るも彼等が如何に無遠慮に官金を私腹に收めたるか、如何に地方政治が腐敗紊亂し居りたるかを推測するに難からず、而して彼等が私腹したる所謂未勘金なるものは其在任中の幌簿に殘存するを以て、度支部に於ては從來其責任者たる彼等より徵收することゝしたるも、彼等の中には稀に自己の爲したる此行爲の曲事なることを悔いて其責任を果すものあり、此等の者より年々度支部に納付しつゝありたる金額は七八萬圓に達せりと云ふ、然るに現在大臣若しくは大官となり居るもの、或は富豪となり居るもの等は却て其責任を果さず且つ之を拂はざることとの運動をさへ頻りになしたれども度支部は彼等の運動に毫も耳を借さざるのみならず、從來採り來れる緩慢なる手段を捨てゝ此際租稅怠納者と同一の處分をなすことに決定せりと云ふ、是れ官金私腹者に對する所置としては寧ろ穩當に失する手段にして毫も批難すべき所なし傳へ聞く所に依れば、此未勘金の責任を有する元の地方官等は槪して京城に住居せりと云ふ、而して度支部の今回の嚴重なる所置に對して說をなすものあり、曰く、さなきだに京城韓人間金融逼迫の今日斯の如き事をすれば城內の金融上に一層の逼迫を來たすべし云々と、是れ甚だ謂れなきことにして素より之を拂ふべき財力なければ止むを得ずと雖も、官金を私腹して贅澤なる生活をなし居る輩より之を取立つるは當然の事なりとす、日本政府より無利息無期限にて每年幾百萬圓づゝを貸附せざる可らざる程窮乏せる韓國々庫にして、當然取べき四百萬圓近き未勘金を取立てざるとせば是れ當局者の怠慢也、當局者たるものは如何なる運動にも反對にも耳を藉すことなく斷行せざる可らず、寧ろ此際最後の手段に訴ふるも未勘金の處分を了するを要す、是れ啻に財政上の問題のみにあらずして政治上の問題として此際之を解決するを以て最も須要の措置なりと信ずる也

●木材流失と採木公司

季木材の整理時期を待ちて進退を共にすべ

路透電報

▲佛國內閣の瓦解　佛國海軍特別委員會に於て佛海軍の腐敗暴露されたる結果內閣は總辭職を爲すに至れり（二十二日東京經由）

北京電報

▲吉長問題解決　吉長線問題に關する殘部の解決は北京に於て談判することに決したり

▲湖北水害救助　湖北省水災の爲め清國民窮す我漢口商會、漢口日報社は義捐金の募集に着手したるが淸國人は其厚誼を感謝し居れり

▲張鹿兩氏の病氣　張之洞は老病の爲め無期休暇を、鹿傳霖は重患に罹り

▲哈爾賓淸商激昂　ハルビンの支那商人は土地値下げ運動を始めたるに市役所之を（露淸合同の）拒絕したるを以て大に激昂し同盟して門戶を閉ぢ商業を休み强固なる反對運動を爲しつゝあり

▲獨領事の干涉　北京駐在の獨逸領事は新奉鐵道總辦李德順免官の理由を總督辦大臣に質し停車場を河北に移せる事に對し注意を與へ干涉を開けり

▲京漢鐵道復舊　過日來降雨の爲め不通となり居たる北京漢口間の鐵道は本日より開通せり

▲浙江省の水害　淸國浙江省德新縣は水害の結果各所に暴動蜂起し全省の人心兢々たり政府は近く鎭撫の爲め軍隊を派遣すべし

▲露國と淸國鐵道　露國と米國とは通商上の立場より淸國外務部に向ひ兩湖內鐵道借款の豫約に加入を申込みたりと傳へらる（二十二日東京經由）

東京電報

▲依願免役奏上　鹽屋中將は感ずる所あり依願免役の奏上を爲せり

▲鐵道功勞者行賞　鐵道國有に關する功勞者山縣伊三郎氏は勳一等旭日大綬章を賜はり其他四十三名に對する行賞あり（以上二十二日午後發）

雜報

●梨本宮殿下御歸京期　梨本宮同妃兩殿下は廿四日午前九時南大門御發車同夜釜山に到り直ちに連絡船にて御歸京のことに確定したりと云ふ

●庖肆規則改正　庖肆規則は從來屠畜並に賣肉に對する取締を爲すと同時に一面之れを國庫の一稅源と爲す目的なりしが同規則は建陽元年の發布に係るものにて該營業に對する取締規則としては全然今日の時勢に適應せざるものにて徵稅金額の如きも一年僅かに三万圓なれば今回之れを廢止し屠獸規則を設くる筈なるが同規則は食用に供する牛、馬、羊及豚等屠殺は屠殺場以外に於て爲すべからざる規定なる筈なりと云ふ

●觀察使會議開會　既報の通り二十二日午前十時內部大臣官房に於て各觀察使會議を開きたるが岡次官は各自の意見を聽取せり

●觀察使會議の終了　內部に於ける觀察使會議は二十二日を以て終了せるが二十三日農商工部の會議を以て全部終了する由なりと

●守衞府官制の編成　軍部廢止は成べく早く決行する方針にて目下內閣法制局に於て守衞府官制案及豫算編成中なりと云ふ

●施療病院官制發布　韓政府は全州、淸州、咸興の各地に施療病院を設立する事に決定し近日同病院官制發布さるべしと

●韓美興業の計畫　韓美興業株式會社は米國より雜貨を輸入し日本の輸入商品に比し二割方の低價を以て賣捌かんとて目下協議中なりと云ふ

●韓國派遣隊增給　臨時韓國派遣部隊に屬する准士官下士增給取扱に關しては明治三十六年陸第百九號陸軍武官增俸給與規程に依り新所屬部隊每に取扱ふべき由なりと云ふ

●金融組合の成績　各道金融組合は既に五十二ケ所の設立を終り目下設立準備中のもの四十八ケ所なるが既設組合の本年上半季の成績は良好にして何れも六七百圓の純益を得たりと

●韓銀の創立總會　韓銀條例は既に參與官會議の議を經て確定し居れるに依り不日發表の筈なるが之れと同時に荒井次官は上京して創立委員の任命及創立總會等の事務に關與する筈なるが出發は本月末又は來月初なりと

●太田民長歸安用件　原金滯在中なりし安東縣民團長太田秀次郎氏は岡部領事の急電に接し廿二日歸安したるが聞く所に依れば採木公司對居留民問題及一銀問題の二件に關してならんといふ

●土地調査の着手　韓國の土地調査に度支部臨時財產整理局にて着々準備中なるが測量手は既に三百名も養成しあり又慣習調査も粗ぼ結了したるを以て愈々實地に着手すべきや否やは荒井次官の上京前決定すべき筈なりといふ

●觀察使の教育希望　二十一日學部に於て開かれたる觀察使會議に於ける各觀察使の教育に對する希望は實業學校公立普通學校の增設及高等教育機關設置女子教育の普及道視學の配置教員講習及養成機關の增置及教科書及び唱歌の編纂等なりしと

に入學せしめ正式の訓練を施す方針なりと

●漁民取締と補助金　農商工部水產局にては韓國漁民の保護取締を朝鮮海水產組合に爲さしむる筈にて之が補助金支給に就き先般來協議中なりしが今回愈決定せしを以て不日交付さるべしと云ふ

●軍部廢止と將校　日本陸軍省の本廳費は三拾三萬餘圓なるに僅に七百余名の步騎兵を有する韓國軍部の本廳費は十六万七千餘圓を要し其大部分は俸給及雜費なるが財政上大整理の余地あるを以て今回軍部廢止と共に無用の將校二十餘名を罷免する由而して罷免將校の大部分は文官に採用し且つ官等に應じて二千圓以下千圓以上の恩賜金あるべしといふ

●梨本宮御滯京彙報

▲官民有志引見　殿下には既報の通り二十二日午前九時半より十一時迄統監邸に於て京龍日本人各高等官東拓重役各銀行重役支配人民團民長會議長等を引見遊ばされたるが尚各國領事をも引見遊ばされたりと

▲愛國婦人會臺臨　豫定の通り兩殿下には二十二日午后三時御出門統監府に御立寄遊ばされ後本願寺なる愛國婦人會へ成らせられ重なる會員を引見拜謁を賜り妃殿下より一般會員へ御諭旨を賜はりたる後御退場五時過より和將臺公園を御散步遊ばされたり

▲農產物御覽　農商工部にては水原模範場纛島園藝場及農商工部試作場に於て培養したる廿餘種の菓物及野菜、穀物等を集め中村技師御旅館に持參して兩殿下の御覽に供したりと

▲殿下の御下賜品　別項記載の如く兩殿下には統監邸に立寄られ各高等官其他を引見遊ばされたるが各員へ扇面一個銀製小匣一個づゝを御下賜相成たりと

▲晩餐會へ臺臨　二十二日午後七時よりは長谷川町大久保司令官邸の晩餐會に臺臨ありたり

▲明石少將の賊狀說明　殿下には別項記載の通り統監邸へ成らせられ文武高等官を引見の際明石少將は憲兵隊に於て調査せし最近賊勢統計表並に圖等を獻し詳細御說明申上げたり

●銀行營業狀態

在京城日韓各銀行の上半季末現在預金及貸出金左の如し

▲預金高

第一銀行	七、九四四、三〇六圓
第百三十銀行	八一二、二〇〇
第十八銀行	五一八、六三二
計	九、二七五、一三八
大韓天一銀行	三八七、九六四
漢城銀行	三一七、九三三
韓一銀行	四〇四、八四三
計	一、一一〇、七四〇
漢湖農工銀行	三三八、七八五
合計	〇、七二四、六六三

▲貸出高

第一銀行	二四八、六一一三圓
第百三十銀行	五九、九四三
第十八銀行	四二、一一一
計	三五〇、六六七
大韓天一銀行	二五二、〇八三
漢城銀行	三〇、一一〇
韓一銀行	四三、九九三
計	九六、一八六
漢湖農工銀行	一二、二一五
合計	四五九、〇六八

●郵便物の流失　本月十日より十六日に

●各銀行の總會開會　上半期に於ける各銀行の總會は本月中に開會すべき規定なるが共同倉庫は既に去る十七日總會を開き一割五分の配當を爲し廿五日は農工銀行廿六日は手形組合廿八日は漢城銀行未定天一銀行其の他三の銀行也と

●新協約の發表期　新協約發表の件に付ては日韓同日を期し近々發表せらるゝべき由なれども各國使臣又は領事團等には二十一日頃迄に夫々其大要の內牒ありたる筈にて一般への公表は實行の準備整ひたる適當の時期を見計ひて發表あるべければ猶多少の猶豫あるべしと京通は報じ來れり

●纛島驛屯土引繼　豫て調査中なりし纛島の驛屯土は今回全部の調査を了りたるに依り韓國政府が出資の一部として三百四十町步を受取りたる旨佐川總裁より度支部へ向け受領證を提出したるが引取りたる地面の內荒地八町一畝二十三步と山林二反五十九畝步は附屬地として受取りたりと云ふ

●韓國衛生狀態

內部衛生局にては保健課醫務課の外本年二月官制改正の結果更に試驗課を增置し痘苗製造化學的檢査細菌檢査の事務を開始したるが去る五月迄の痘苗製造高は十萬二千二百五十具五十一万千二百八十八人分にて韓人へ强制種痘を施し又四十六萬人分は無料配布せりと

▲屠獸事務　屠獸に關する事務は從事農商工部主管なりしも本年三月內部に移屬し目下屠獸規則の改正手續中なり

▲傳染病　本年一月以降五月迄に各道に發生したる傳染病患者は四千百六十一人內死亡八百八十八人にして痘瘡三千七百九十六人內死亡八百三人腸窒扶斯二百六十三內死亡五十五赤痢四十一死六實扶垤利亞二十八死六猩紅熱十五死亡九發疹窒扶斯三死亡一虎列剌注意患者十五死九名なり以上は當局の檢擧したるものにして實際は非常の多數なるべし

▲ペスト豫防　關門地方にペスト紛發せしを以て衛生局よりは局員を派遣し實況調査の上釜山仁川二港に捕鼠買上徵菌の防疫事務を開始せり

▲阿片烟吸用　本年五月迄に檢擧されたる阿片吸用者は五千三百六十人に達し之等に對しては斷烟及漸次吸烟廢止の方法をとり居る由

▲衛生狀態調査　衛生局の調査に依れば在韓人醫師數二千六百五十九人日本人醫師二百八十三外人醫十九名藥劑師韓人百四十三名日人七十五名產婆韓人三十三名日人百〇五名看護婦韓人三十二名日人百五十五名藥種商營業韓人三千二百六十五人日人五千百七十五人商人九名賣笑婦韓人八千四百八十六名日人二千八百三十名歐米人十數名あり

せんとして郵便物を流失せる遞送人には

●農商工部の献上品　農商工部は梨本宮殿下に對し左の品を献上すべしと

一韓國中央農會報五冊（韓國中央農會より）一手巾一打、一萃菓一箱、一番茄子一箱、一越瓜及菜豆一籠（一南瓜同上、一蘿同上、一午蒡一束

●韓人判事の處置　司法權委任協約實施後韓人判事等は日本の官吏となるべきや或は囑託若しくは何等かの名義の下に雇聘せらるべきや其位置頗る曖昧にして人の疑問とする所なるが彼等は多分通譯として引續き採用さるゝこととなるべしといふものあり

●協約實施と司法警察　協約實施の曉に至り警察權依然として韓國の手に在りてはよし實際上に於ては何等かの便法を設けて故障なきを努むるとするも敏活を要する司法警察の性質上大に司法機關の運用を沮礙するの結果を來すべきを以て當局者にても目下其方法に就き研究中なりといふ

●岡田辯護士來社　昨本紙掲載の雜報中岡田辯護士懲戒云々の記事に付同辯護士は電話を以て又廿二日午前十時本社を來訪せられ記者に語つて曰く自分が銅峴分署より韓人依賴人の代理となり相手方の供託したる金三千圓の假下渡を受け右金員中より自分の手數料謝金等を控除して依賴人に渡したるは決して違法の所爲にあらず素より辯護士として爲すべき當然の事を爲したるに過ぎざれば辯護士會より譴責などを受くべき謂なし亦某より自分が死亡せる或韓人の委任狀を使用し金圓を受取たる件に付告訴せられたることは事實なるも事の次第は其筋の取調により不日明白となるべし云々

●各道の事務報告　各觀察使よりの管內事務報告は悉く內部に提出濟みとなれる由

●內部の事務報告　內部の事務報告は悉皆完成したるを以て統監府へ提出の筈なり

●釜山滊船の總會　農商工部より航路補助を受けつゝある釜山滊船株式會社は去る廿日株主總會を開き配當額を年七分に決し其筋へ認可を請求せり

●軍司令官の巡視　既報の如く大久保軍司令官は廿四日午前九時梨本宮殿下御退京の際釜山迄御見送り申上げ歸途南韓各地守備隊狀況を視察すべしと因に大將の隨員は副官岡本參謀足立中佐等數名なりと

●渡邊少將の歸任　大邱獨立守備旅團長渡邊少將は入京中の處二十二日歸任せり

●コールブランの家族　コールブランの長子夫妻並に三男某は二十日午前九時十分南大門發列車にて黃海道水安に向け出發せる由なるが同人等は同地の金鑛に赴きたる由なりと

は

●ベッセルの邸宅　故ベッセルの寡婦は舊國前現邸宅を賣拂はんとて各知人に周旋方を依賴しあるも買受人無く大に當惑し居れりと云ふ

●菊池博士の取消　拜啓七月二十一日貴紙第百六十六號紙上に拙者の診斷として貴統監が胃腸病に罹り居らるゝ旨記載有之候へ共拙者は何人にも右樣の談話をなさざるのみならず病症に於ても事實全く無根に付此全文を揭げ御取消相成度候也
明治四十二年七月廿二日　菊池常三郎
京城新報社御中

公人私人

▲御幡雅文（三井物產會社員）二十一日入京巴城館へ
▲樂塞齋（上海貿易商）同上
▲先山耘（三井物產會社員）同上
▲木原方吉（佐賀縣水產組合技師）廿一日入京原金へ
▲飯田章（京畿道警察部長）二十一日赴任
▲三宅驥（理學博士）二十一日開城へ向ふ
▲安達堅造（陸軍步兵大尉）廿一日釜山へ向

近事片々

▲土用に入りても兎角天候陰鬱併し照りはじめたら嘸や暑からむ此際攝養こそ肝要也
▲霖雨も最早止む頃降雨も茲暫く充分ならむ此分ならば本年も豐作ならんと思はる
▲東拓會社は何事をなしつゝあるか局外者には頓と判らぬ優柔不斷も既に度を過ぐ
▲地方出張員は殆ど遊山的にして呑氣極まる斯る狀態では百年待つても事蹟は擧らず
▲如何に國家的事業でも斯くては何の役にも立たず少しは使命に顧みて恥る所あれ
▲中央銀行の總裁には美濃部君と確定せる如く噂するが果して與が片々は聊か懸念
▲美濃部君の外廣い世間に適任者なきか
▲司法權執行に就て警察權我になくんば同君の御手並は北海拓殖にて判明し居る也
▲費用の點を如何にせんと云はるゝも是には多少の善巧方便を用る所あるを要す矣
▲今回の政變に于韓人辯護士や基督教徒の中には誇大に言觸らし愚民を煽動すや
▲彼等の中には今回の協約は併呑の前提なり抔唱へて排日熱を煽る者ありと不屆也
▲此等の輩は稍ともすれば些細の事を種にして排日運動をなす斯る徒は嚴罰すべし
▲東亞興業會社は株式組織なれどもシンジケートの性質を有すとは聊か片腹痛たし
▲此會社を以て英米獨佛等のシンジケートに對抗する積りか或は彼等の落穗拾ひか
▲林董伯駐米大使たらん事を勸めらると同伯の駐米大使は最も適任切に就職を望む
▲日米の國交上米國の對東洋策等に就て米國には有爲の使臣を撰拔して送る必要有
▲外相たりし加藤高明氏英國に大使たり林伯振て就任せよ現閣と政見云々を言ふ勿れ
▲布哇に於ける我勞働者問題以後事の不親切より起るも我在外官憲常に此傾向あり
▲膨脹せんとする國民の鋒先を官憲の干涉過ぎて鈍らかす此弊斷じて排除すべき也
▲祖國鈍に於ては年毎に富士登山者增加し今や流行となる盲目連の登山は頗る振へり

……甚しく且つ採木公司の事務整理を缺けるを以て胡理事長は責を引きて辭任せんことを申出でたるに對し橋口理事長は今年秋……

●武官學校の處分　韓國武官學校は當分現狀の儘存置する由なるが同校生徒は行く〜は我陸軍士官學校へ遂せりと

葉錢回收の成績は頗る良好にして六月末日迄の回收額は二百二十二万千五百十七圓に……

水口川增水八尺に及び十四日午後五時より交通杜絶し居りしが十六日午後六時江西郡鎮南浦行きの郵便遞送人韓人は此川を渡渉……

●韓人翻譯官試驗　韓人翻譯官補の試驗は近日施行の筈なるが時日は未定なりと

●配達出拂　午後七時三十分

●顧客を愚弄する丸京呉服店（三）

▲會計係は刑の執行猶豫中▼
▲支配人以下店員の女郎買▼

▲會計係の舊惡　丸京呉服店が前記の如く不正手段を取るに至りしは元より主人の指圖に依る者なれども所謂勇將の下に弱卒なしで主が主なれば家來も家來、誰れ一人として眞面目なる男は居らず先づ第一會計係の**井上宗之助**と云へるは昨年迄**大邱**商業會議所の**書記長**を務め居りしが當時同會議所内に達城公園期成同盟會なるものを設け**彩票發行**したるが其發行者は時の會頭岩瀨靜氏の名目なりしも實際は書記長たる井上が事務を執り居りしかば小人玉を抱いて罪ありの例へに洩れず何時しか彩票**賣上金**を多額に**費消**し此事忽ち公然の沙汰となり岩瀨氏は責を負ふて會頭を辭し井上は書記長を免せられて**被告**の身となりしを同情厚き大邱人士の奔走にて一時事濟みとなりしに彼れ井上は此以外に私書僞造行使**詐欺取財**と云ふ罪を犯し居る事發見せられしかば今度は如何共する能はず遂に同地理事廳にて六ケ月の**懲役**に處せられしも判官の涙を以て二ケ年刑の執行を猶豫され現に其猶豫中にあり。而して其后彼れは大邱を立退き當地に來り或る人の世話に依り丸京の會計係りに雇はれしが可愛相なは彼れが妻子にして、妻のハル女は**因果の遺物**たる一人の子を連れて井上から送る若干の手當に依つて生活なしつゝありしに彼れが書記長罷免後は一錢の送金をも爲さゞるのみか一通の手紙さへ出さゞるにぞ止むなく其親戚なる大阪府下中河内郡八尾町の叔方に身を任かせて只管夫の便りを待ちつゝありと、如斯**冷血**にして惡事に長けたる彼れ井上をして會計の任に當らしむる丸京こそ恰かも**盜見**に**鍵**を渡したると同一ならずや、併し目下の井上は當時と違ひ大に謹愼して左樣な醜態なしとすれば誠に結構なり

▲店員の女郎買　主人の不正なるを知悉せる店員等は其**弱點**に附け入りあらゆる我儘を敢てし益々店務は亂れ居れり今其一二の例を揚ぐれば支配人として昨年廣島支店より差廻されし**小花**賢は來京當時より他の店員を引連れ屢々**新町**に足を入れ清月、松榮、大樹等に**豪遊**を極むる事も少なからず且つ小花は**松榮樓**の**一助**、同じく店員の**羽山**は同樓の**梅子**に深くも打ち込み殆ど毎夜の如く足を運ばし其費消する處大低一ケ月**百圓以上**に上り居れりと彼れ等店員等は如何に多額の給料を貰ひ居るかは知らざれども小花の如きは別に一家をも構へ居れば二百や三百の月給ではアノ豪遊は出來まじ、是れには何か恐ろしい**秘密が伏在**し居るには非ずやなど噂する者もあれども記者は穴勝ち之を信ずる譯けでは無い（續く）

▲丸京記事と讀者の聲

▲丸京と云ふ呉服店は全く詐欺的ですよ妾は十二枚の福引劵を貰つて一枚も當りませんでした餘り酷いです ワ（殘念生）▲貴紙の丸京筆誅以來心ある者は殆ど一人として彼れ奸商の店に入るものなし痛快〳〵（近所の男）▲丸京店員の惡事の數々を知悉せる男あり其住所を別紙に報す記者君大に調査し玉へ（愛讀生）

●村民悉く死滅せん

▲斃牛を食したる爲め　仁川府内長川里民は去る九日仁川牛角洞にて斃死せる炭疽牛の肉を喰ひ村民の過半は炭疽病に罹るへしと戰々兢々たり左に其の顚末を報せんに本月十日仁川署員は牛角洞に斃牛ありとの報に接し直に矢野獸醫と同行現場に出張檢死したるに牛疫炭疽菌を發見したるより尚も詳しく斃牛を檢するに皮を剝ぎ取りたる后若干の肉をも剝ぎ取りたる形跡あるより村民を召喚して嚴重取調べを行ひたるも村民は知らぬ知らぬと終に肉の行衛を告げざりしが去る二十日に至り長川里に於いて村民炭疽病に罹かりて死するもの續々なりとの報ありたれば署員は出張取調べたる所、屠殺人外洞、保萬春及長川里住、文善京及び外一名は既に死し尚ほ長川里朴士文外十余名は發病悶絕し居ることを確めたれば出張巡査は高木警察醫をして之れに施療せしむることゝし現場には大消毒法を行ひたるが長川里民の過半は去る九日前記炭疽斃牛肉を配分し或は既に食したる或は醬油漬となし日々食しつゝ居たれば其の中に罹病すべければ村民の過半は全部死滅すべしとて戰々兢々の有樣なり

●仁川紳士の賭博

▲民團議員其他多數　最に當地南山町にて高等官其他紳士連の賭博……連れ所轄……早速取調を受けたるに此男は旭町……

●仁川署の坂下

仁川署の坂下、石川の兩刑事が同地山手町土木請負業小林組裏手を密行中二階の方に當りパチリ〳〵と弄花の音の聞ゆるにぞ驀しの用捨もあらばこそ直ちに躍り込んで證據品を押收すると共に縛り上げたる名々は驚く勿れ仁川民團議員にして**秋田商會**店員だる宮町居住小笠原忠一、山手町土木請負業小松松太郎、本町四丁目時計商山岡利兵衛、山手町吉田組會計鹿江俊雄、山手町小林組內船井芳雄の五名にして何れも賭博の現行犯として告發せられたるが茲に山岡利兵衛の女房某は坂下刑事に**金百圓を送り**以て內濟にせん事を頼みしも**清廉**なる坂下氏は一言の下に跳ね付けたりと而して右被告人は何れも同地にて相當信用を有する連中なれば目下八ケ間敷き問題となり居れりと

博檢擧ありて大に彼等仲間に恐慌を與へたるが今又仁川にても紳士の弄花を檢擧したるぞ愉快なり、時は去る十八日午后六時頃……

三丁目椎原森太郎方居留大工職椎原勝（二七）と云へる者にして同人の實兄某が破産を爲したる爲め精神に異狀を生じたる者なる事判明し同人の同鄕者なる北米倉町佐々木力藏に引渡したりと

●月尾橋より落つ

仁川警察署に一昨日午後一時月尾橋附近に變死人ありと訴へ出でしものありしかば警官直に出張取調べたる所　仁川居住朴春葉（三十八）なるもの月尾橋附近にて船より材木運搬中過つて海中に墜落せる折頭を打ちたれば海中の泥中に氣絕したる後通行人に救はれ漸やく甦へりたりと

●崎魚捕獲と流說

過日江原道寧越郡西面漁夫某は同道永春郡境界澳江の支流に於て首尾は魚形にして四肢を備へ丈け三尺餘總身に白色の細毛ある畸魚を捕獲したる由なるが古來該魚の捕獲は稀有のことにて曾て丙子の年韓明の戰爭壬辰の年日韓戰爭等の發生前漁獲せしことあり依て今回の捕獲は古來の例に徵し日ならず日韓の間に何等かの葛藤を生ずるの前兆なるべしとて各所に浮言流說ありと

●高利貸の高等官

▲宮內府次官乙をやる　朝鮮に來て居る日本人官吏は給料が餘りに多過ぎる爲めにや隨分と卑劣な事をやる者もあるとの事なるが茲に宮內府事務官の某と云へるは已れが月給の殘りを常に知人の誰れ彼れに貸與へて高利を取るを內職と爲し居れるがつい先日の事友人某より差入れたる約束手形を如何なる惡日なりしや人もあらふに小宮次官の面前に落して行きたるを早速次官が拾ひ上げさては噂に違はず奴高利貸を爲し居る哩、待て〳〵と獨り首肯き其儘狀袋に封入して差出人の名を省き宛名のみを記して同事務官の宅に送りたれば流石の某も之れには閉口し大に恐縮爲したるが此事早くも府中に廣まり大評判となり居れりと

●犬大監のお通り

輔國閔泳韶氏は畜犬團束規則に依り自己の姓名を畜生の頭に刻しかける如きは以ての外の恥辱なりとて閔輔國の三字のみを記し下げたる紀該犬の通るを見る韓人共はスワ輔國大監のお通りなりとて囃やし立て名を惜む大將の下に名を辱ぶ臣ありと噂し合ひつゝありとなん

●電車運轉の復舊

ストライキの爲め運轉停止中なりし韓美電氣は一昨廿一日五輛の運轉を開始したるが今日は全部運轉の運びに至るべしと云ふ

●裸体になつて料料

南大門通二丁目十二番戶拜鄕彌吉（十九）は去る十六日午後十時三十分頃自宅前街路に於て裸体となり居たるを巡査に認められ昨日南部署にて科料金二十錢に處せらる



▲歌舞伎座　愛澤一座は目下好人氣なるが明日の藝題は「武士的教育」全八場にして役割左の如し

横島夫人道子（西井）女中お濱（本田）人夫與作（金澤）令孃多見子（桂木）占部初子（河野）樺島大佐（角村）人夫留公（玉川）肴や常吉（中村）軍曹井上（大和）荒川少尉（兩宮）八百や常吉（小谷）軍醫田所（小神）衛兵島田（天草）櫻田勇吉（愛澤）步哨兵時田（三島）大田原少尉畑島權七（美崎）人夫頭作兵衛、深谷與一（篠崎）紳士山口實明（森山）

●醉拂の撲られ損

明治町一丁目丸高料理店に越智德太郎（三十）と云へる男が一昨日午前二時三十分頃本町一丁目裏通り飲食店梅の家に於て酌婦を相手に大に煽り居たるが隣室なる某客人突然這入り來り深夜に何を騷ぐかと叱したれば酩酊せる德太郎は承知せず一口二口爭ふ中件の男は有合せたる德利を以て德太郎の頭部をブン撲りたれば德太郎は此旨南部署に訴へ出で巡查出張したるも件の男は逃走後にして行衛不明なれば途に撲ぐられ損となつて引下がる

●お客樣は＊印　一昨廿一日午後九時頃旭町二丁目不知旅舘の玄關より物をも言はず二階に通りたる怪しき男ありければ宿の者は退去を請求したるに件の男は大聲を揚げて罵倒し亂暴に及ばんとするにぞ同店員の田口猶一と云へるが取押へて南部署に……

◎問

私は或る所にはう公してますものでございますがれきう金を少しつゝ預けようとれもひますがゆうびん局がよいか銀行かよいかうか教へて下さいませ（廿二女）

◎答

感心な心掛けです、郵便局でも銀行でも何方にしても宜しいが少し宛のは郵便貯金が便利です、銀行では少しは預りませんが唯十八銀行計りですから貴女の氣に向いた方へ預けなさい、確實なのは何方も同じです（係）

◎問

私は天氣が能くなつたら氷屋を初めます積なるが全体場所は何の邊が宜しう御座いましようか一つお考へ下され御願ひ致し候（溫突の人）

◎答

難問題ですな、斯う云ふ御相談は眞に閉口する、何處其處が宜いと申し上げることは困る、何故かと云へば僕が宜からうと思つたまゝを答へる、すると其處が宜くなかつたと成ると貴子には損を掛けることになる、却つて相談に應じた爲めに怨まれる、が、要するに他人の目を付けない所が宜い、而して日本人相手でなく韓人相手が宜い、値段を安くして五厘でも一錢でもと云ふ風に成さることが策の得たものと信じます、此れ以上は御返答申し上げ兼ねます（係）

◎問

僕は此の頃何う云ふものか食が進まず、此れと云つて別段何所も惡くはない樣です、何うしたものでしようか

◎答

此れを名けて素見と云ふ、暑中は誰れでも食の進まぬものですから成る可く滋養に富んだ物を攝取ように注意せらる可し、併し斯う云ふ事は拙者よりはお醫者に御相談が適切です、終り（係）

▲相談の相談▼

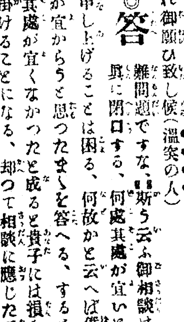
（何んでも御相談に應じ升）



▲太平洞人並に烟酌玉君より回答に接す而して兩君の猶健在なるを確め得たり欣喜々々希くは更に轡を並べて本欄に奔馳せられんことを希望せざるを得ず（石井洞人）▲見ず識らずの人でも自分の愛讀してる新聞を讀で居るのを見ると他人の樣な氣がせぬ（なにがし）

▲營業の日本愛讀者懇親會を開き併せて顧問新渡戶博士か增田副長の來韓を乞ふて講演を催ふしては如何、淸新の娛樂なき誘惑の多い墮落し易い殖民地の營業界に商業道德を鼓吹するのは穴勝無益であるまい且つは炎帝威を逞ふするの時僅かに一服の淸涼劑たることを疑はぬ取次販賣所各書店の盡力を望む（一青年）▲源氏節美根由は益々巧妙になつた加之に喉の太くなつたには驚いたよ首朝の落語も沈着が出來て頗る甘くなつた總の甲よの何んとかだ（源氏節黨）▲明治町の武力屋の時計の止まつて居るを不思議に思ふ勿れ右は中の器械がないので御座います休憩に掛けてあるのです働く方が不思議なのです（能知生）▲娼妓酌婦藝妓なぞは……





▲恐縮（係）▲米倉町の岡の屋と云ふ料理屋は一寸粹に出來てる（素見人）▲俯仰天地に恥ぢずと云ふことを能く云ふ人があるが此れは其人の道德觀念の標準が低ければ俯仰天地に恥ぢざる程度も低いから當てにはならない（への字）▲刑事巡査なぞ特種の犯罪者を捕へると賞與せらるゝが僕等は失策があれば叱られるが滿足に行けば夫れが當り前だと云れる仕方も無い（小山）

多く親兄弟の爲めに成るものだと思つて居たが大違ひ自分が好きから成るのが多いのだと云ふのか本當だとは本當かしら（一嫖客）▲三越吳服店で夜間營業を仕られると近所一帶非常に打擊を受けると啣して居た人があるが信用と云ふものは恐ろしいものですねと對手の人は感服して居た（大和湯）▲何うです記者さん丸京吳服店員が貴紙の惡口を云つて居たと云ふ投書は仲僞揑造ではなかつたと譯れ分りに成りましたらふ（其……時被叱生）

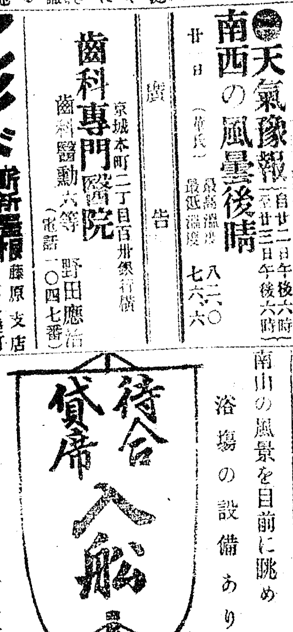
●紳士の遊興振

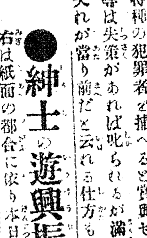
右は紙面の都合に依り本日休載

●天氣豫報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時）

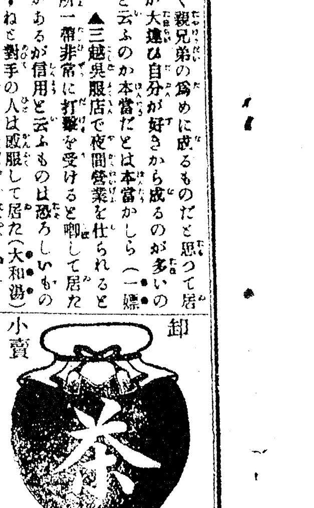
南西の風曇後晴

廿一日（仁川）　最高温度　八二、〇　最低温度　七六、六

















●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金　▲六ヶ月前金　▲一ヶ年
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回　▲廣告五號活字十九字詰一行
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬
發行所　京城　京城新報社